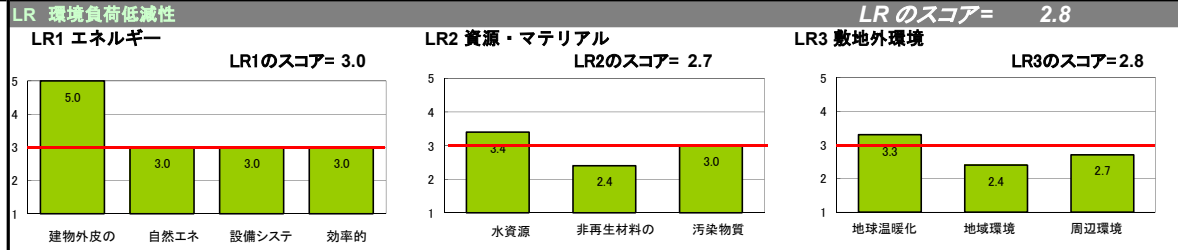
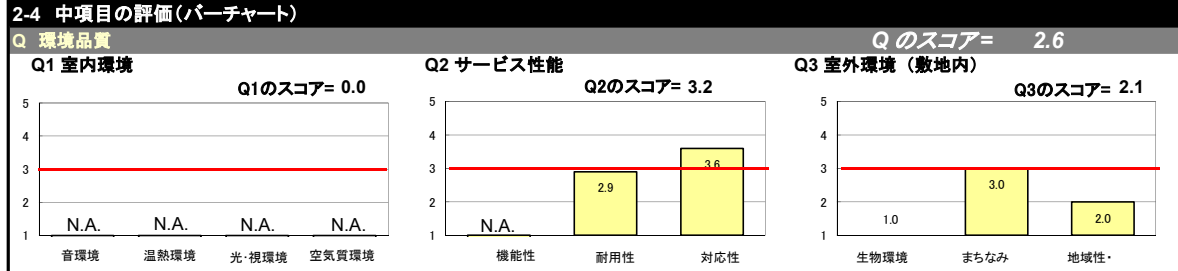
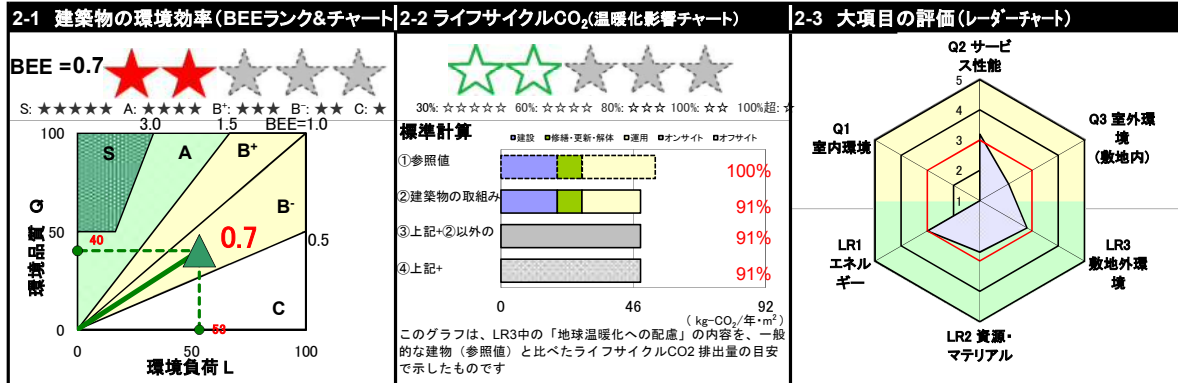


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	㈱ロンコ・ジャパンプロフィットマート	階数	地上3階
建設地	愛知県愛西市南河田町江田32番6	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、地区計画	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	0時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2019年3月25日
敷地面積	10,068 m <sup>2</sup>	作成者	加藤 吉宏
建築面積	5,233 m <sup>2</sup>	確認日	2019年3月25日
延床面積	14,153 m <sup>2</sup>	確認者	加藤 吉宏



### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.3</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">36.5 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.9</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2.3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています



<b>3 対応性・更新性</b>				3.6	0.48			-	3.6
<b>3.1 空間のゆとり</b>				4.2	0.31			-	
1	階高のゆとり		階高6.7m	5.0	0.60			-	
2	空間の形状・自由さ			3.0	0.40			-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			倉庫なので積載荷重3900N/m <sup>2</sup> 以上	4.0	0.31			-	
<b>3.3 設備の更新性</b>				3.0	0.38			-	
1	空調配管の更新性	②		3.0	0.17			-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.17			-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.11			-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.11			-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.22			-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.22			-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.57			-	2.1
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		独自③		1.0	0.30			-	1.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		独自④		3.0	0.40			-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.0	0.30			-	2.0
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>		独自④		2.0	0.50			-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>				2.0	0.50			-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									2.8
<b>LR1 エネルギー</b>					0.40				3.0
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			BPI=0.8	3.0	-			-	5.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>				3.0	0.28			-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>				3.0	0.43			-	3.0
<b>4 効率的運用</b>				3.0	0.29			-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00			-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50			-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50			-	
集合住宅の評価								-	
4.1	モニタリング							-	
4.2	運用管理体制							-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					0.30				2.7
<b>1 水資源保護</b>				3.4	0.15				3.4
<b>1.1 節水</b>			節水型便器を使用	4.0	0.40			-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>				3.0	0.60			-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67			-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33			-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				2.4	0.63			-	2.4
<b>2.1 材料使用量の削減</b>				2.0	0.07			-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>				3.0	0.24			-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		② 独自	-	3.0	0.20			-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>				1.0	0.20			-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>				2.0	0.05			-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		独自	躯体と仕上げが容易に分別可能	3.0	0.24			-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.0	0.22			-	3.0
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>				3.0	0.32			-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>				3.0	0.68			-	
1	消火剤			-	-			-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			-	
3	冷媒			3.0	0.50			-	
<b>LR3 敷地外環境</b>					0.30				2.8
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		①	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率は91%	3.3	0.33			-	3.3
<b>2 地域環境への配慮</b>				2.4	0.33			-	2.4
<b>2.1 大気汚染防止</b>				3.0	0.25			-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>				2.0	0.50			-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>				2.7	0.25			-	
1	雨水排水負荷低減	独自		3.0	0.25			-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			-	
3	交通負荷抑制	独自	駐輪場・駐車場の設置	4.0	0.25			-	
4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25			-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				2.7	0.33			-	2.7
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>				3.0	0.40			-	
1	騒音	独自		3.0	1.00			-	
2	振動	独自		-	-			-	
3	悪臭			-	-			-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>				3.0	0.40			-	
1	風害の抑制			3.0	0.70			-	
2	砂塵の抑制			-	-			-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30			-	
<b>3.3 光害の抑制</b>				1.6	0.20			-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70			-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			-	

**重点項目スコアシート**

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

㈱ロンコ・ジャパンプロフィットマート愛西 新築工事

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.3</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.9</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:36.5%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (株)ロンコ・ジャパンプロフィ:

計画上の配慮事項	
総合	設備システムの効率化を図り、エネルギー使用量を削減しています。
Q1 室内環境	
Q2 サービス性能	倉庫のため積載荷重を通常の建物より大きくしています。
Q3 室外環境(敷地内)	建物の周囲に緑化をしています。
LR1 エネルギー	設備システムの効率化を図り、エネルギー使用量を削減しています。
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能になっています。(躯体+軽鉄+PB)
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率は91%としています。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。